

「第11章 職業の選択，満足，成功における働く価値と文化的価値の役割」の検討

田澤 実

(中央大学大学院文学研究科)

補足1: 働く価値の種類 本書の2章より抜粋

1. 達成(Achievement): 自分自身への挑戦や進歩に対するハードワークの重要性
2. 親密な関係(Belonging): 他者に受け入れられていること、含まれていると感じることの重要性
3. 環境に関する関心(Concern for the Environment): 環境を保護し、保持する重要性
4. 他者への関心(Concern for Others): 他者のウェルビーイングの重要性
5. 創造性(Creativity): 新しいアイデアを持っている、新しいものを作成するのが重要
6. 金銭的成功(Financial Prosperity): お金を稼ぐとか、ものを買うことの重要性
7. 健康と活動(Health and Activity): 健康であり、身体的にアクティブであることの重要性
8. 謙遜(Humility): 達成に関して謙虚であり、穏やかであることの重要性
9. 自立(Independence): 自身の決定をし、自分のやり方でものを作る重要性
10. 家族またはグループへの忠誠(Loyalty to Family or Group): 家族、グループの伝統と期待に従う重要性
11. 私生活(Privacy): 時間がある重要性
12. 責任(Responsibility): 信頼できて信頼できることの重要性
13. 科学的理解(Scientific Understanding): 問題を理解し、解決するために科学原理の使用を評価する
14. 精神性(Spirituality): 霊的な信念であり、自分たちを超えた、よりすばらしい何かの一部と信じていること。

補足2: 文化的価値の種類

1. 人間の本質: (性善説, 性悪説, どちらでもない)
2. 人間 - 自然の関係: (自然が人間を支配する; 人間が自然を支配する; 人間と自然の調和が重要)
3. 時間の志向性: (過去, 過去-未来, 現在, 循環型, つまり, 腕時計やカレンダーで測定される時間とは異なり, 思い浮かべるといふ変化と一致させるもの)
4. 活動: (自発的な自己表現が重要; 抑制がきいた自己表現が重要; 行動志向の自己表現が重要)
5. 自己統制: (思考や感情をコントロールすることは, 非常に, またはほどほどに重要である)
6. 社会的関係: (個人は社会単位で最も重要である; 個人の関心よりも集団の関心が重要である(Kluckhohn & Strodtbeck, 1961))